

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 奥付  |
| Sub Title        |   |
| Author           |   |
| Publisher        | 三田社会学会  |
| Publication year | 2020  |
| Jtitle           | 三田社会学 (Mita journal of sociology). No.25 (2020. 11)   |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         |   |
| Notes            |   |
| Genre            |   |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20201120-0139">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20201120-0139</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編集後記

『三田社会学』第25号をお届けいたします。今号から編集長を務めることになりました。よろしくお願い申し上げます。

とはいえ、まずは今号の発行の遅れの謝罪から申し上げねばなりません。「特集に寄せて」でも説明させていただきましたが、特集に寄稿予定のお二人の先生の論文作成が大幅に遅れてしまったことが直接の原因となります。新型コロナウイルスの感染拡大の結果、それぞれのご所属の大学での対応に忙殺されてしまい、おひとり論文執筆そのものを断念する結果となりました。今年三田社会学会の大会もオンラインで行うことになり、会場で手渡しする必要もなくなったことから、幹事会で発行を遅らせることをお認めいただきました。関係各位、とくに論文を投稿してくださった皆さんには多大なご迷惑をおかけすることとなりましたこと、深くお詫び申し上げます。

本号には、昨年度の大会シンポジウムに基づく特集論文やコメント、4本の投稿論文、4本の書評と2本の著者リプライ、2本の大会要旨が掲載されております。投稿論文については投稿が4本あり、査読、再査読を経てすべてが掲載されました。査読をお引き受けいただき、丁寧であり、かつ厳しくもあるアドバイスをおくっていただいた先生方に、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

特集はマス・コミュニケーション研究、メディア研究に関するもので、『三田社会学』ではこの領域で特集を組むのは第12号以来となります。メディア環境が大きく変わり、また、フェイクニュースやポスト真実といった問題が次々と展開している中、分析概念や分析戦略の再構成のために社会学の知見をどのように活用できるのか、この特集を一つのきっかけに議論を深めていくことができれば幸いです。

なお、今年度も刊行にあたって三田哲学会から助成をいただきました。記して御礼申し上げます。

(編集委員長 山腰修三)

### 編集委員会

山腰修三(委員長) 熊田俊郎 佐川徹 近森高明 村井重樹  
笠井賢紀(事務局) 竹ノ下弘久(事務局)

題字は福沢諭吉による

## 三田社会学

### 第25号

発行 2020年11月20日

編集発行：三田社会学会

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学法学部竹ノ下研究室内

hirotake@law.keio.ac.jp

印刷：梅沢印刷所

230部発行